

安全上の注意

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
● このことには注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

警告

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 分解・修理・改造禁止
● 交換 100V 以外では使用しないこと
● 火災・感電の原因になります

注意

● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
● 感電および故障の原因になります
● 周囲温度が 40℃以上になるとは取り付けられないこと
● 火災・故障の原因になります

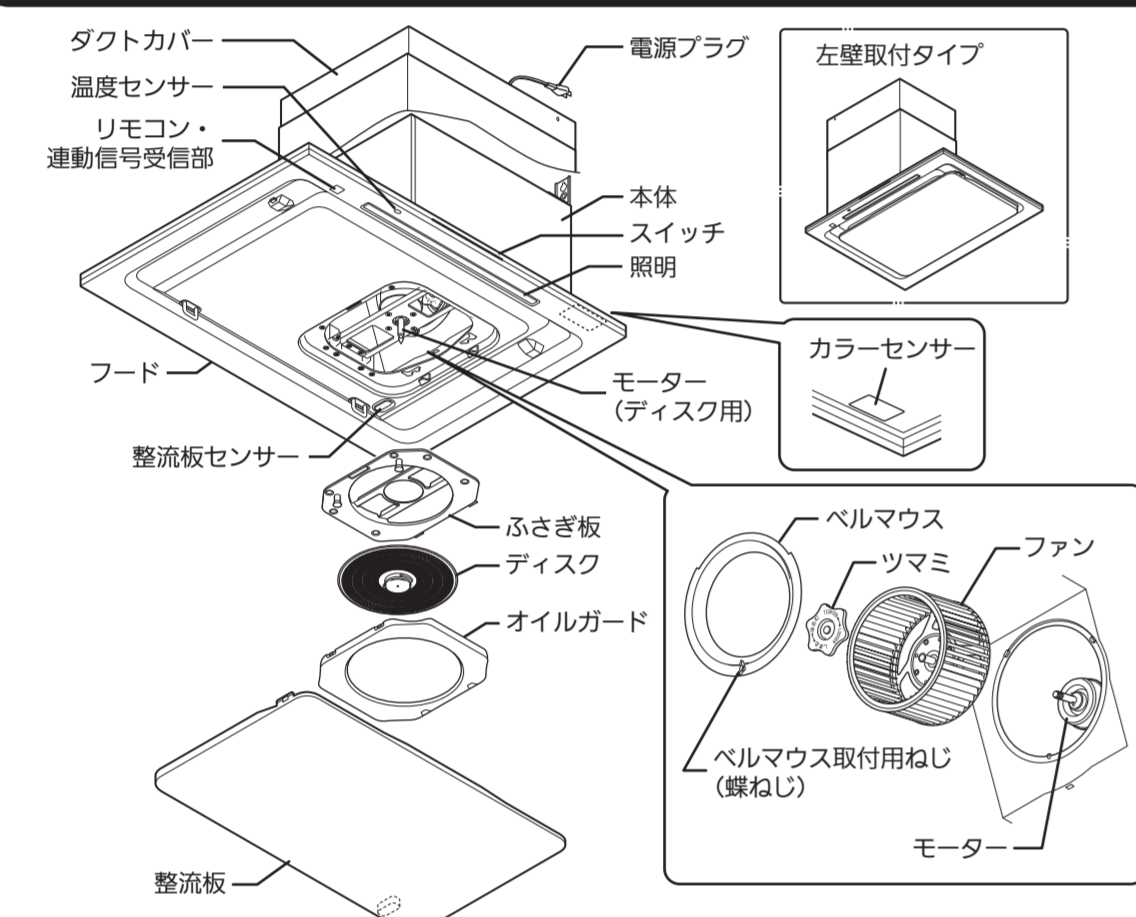
取り付け上のお願ひ

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的な資格が必要となります
● 大工工事【設置のための下地工事等】
● 配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等】

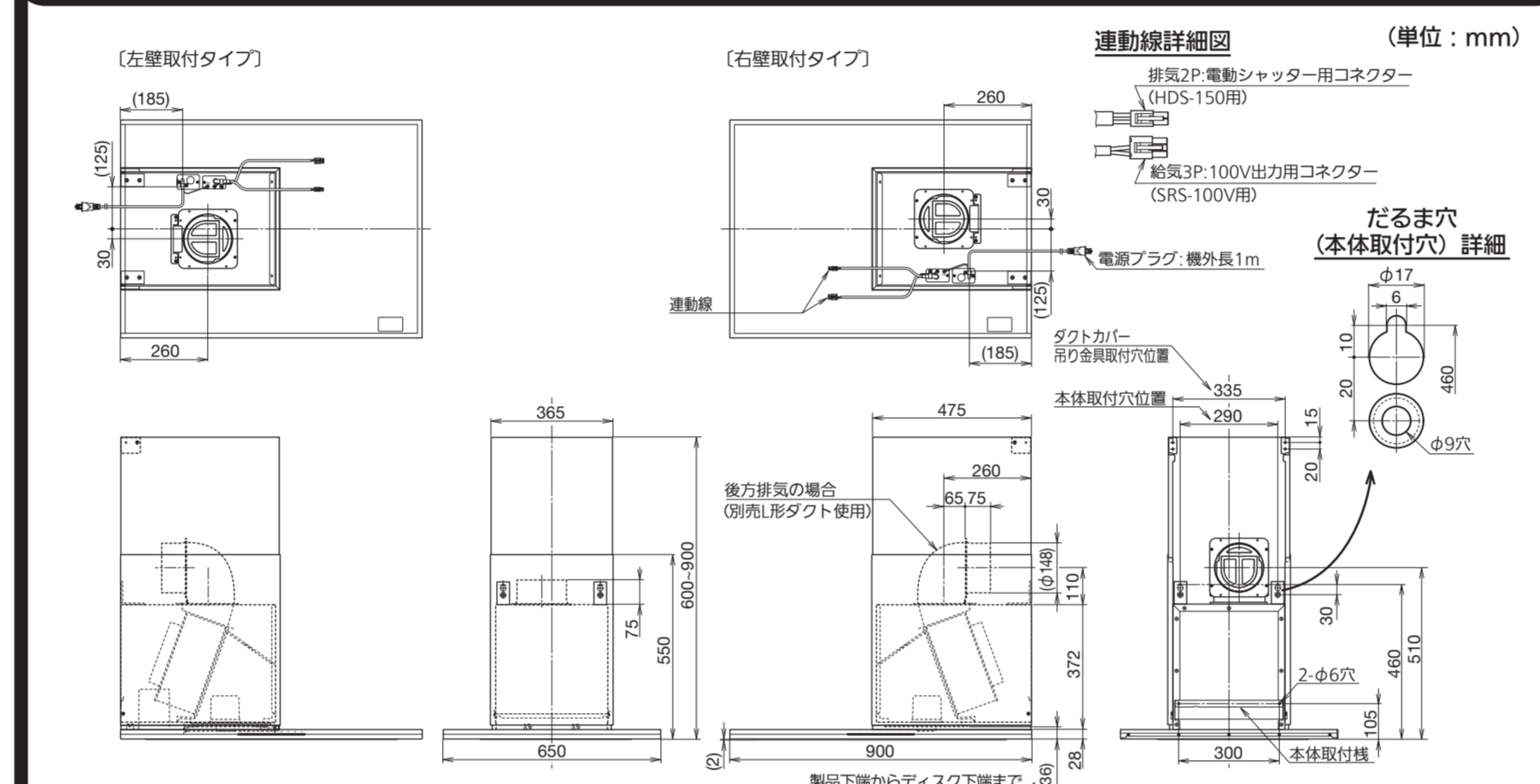
取り付け前の調査と準備

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 分解・修理・改造禁止
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● 漏水した場合、発火するおそれがあります

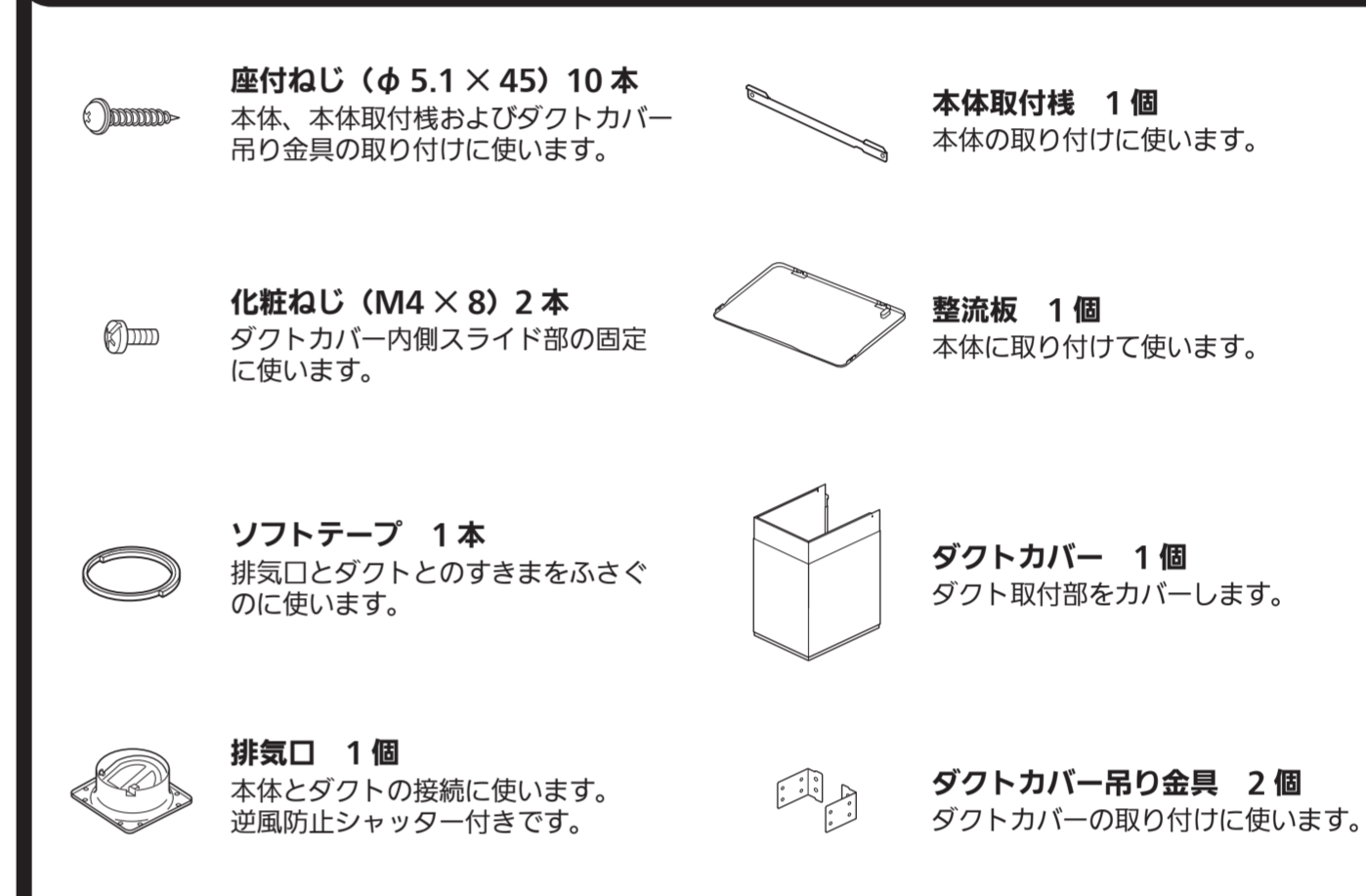
各部のなまえ



製品寸法図



付属品



取り付けかた

1. 付属品の確認

● 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
● 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
● 付属品を確認します。
● 梱包箱から排気口、ねじ等の付属品を取り出し、上掲の付属品一覧により不足がないか確認してください。

2. 排気方向の決定

● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること

● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと(浴室用換気扇をお使いください)
● 感電および故障の原因になります
● 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けられないこと
● 火災・故障の原因になります

3. 排気用部品の準備

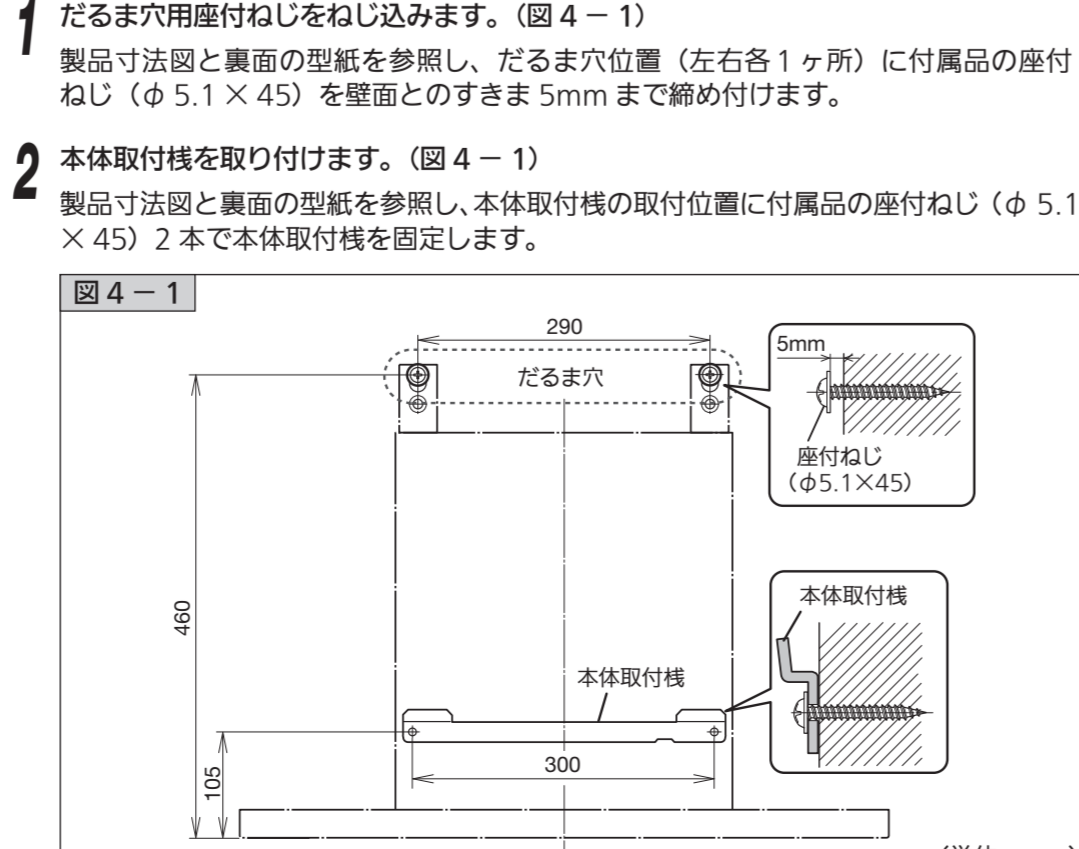
● 「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。
● 上方排気の場合(図 3-1)
● 排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。
● 本体に付いている取付ねじ 2 本を取りはずし、付属品の排気口を差込部に差し込み、取付ねじで取り付けます。

● L 形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続した後排気する場合は、シャッターの開く方向に注意して排気口を取り付けてください。
● 下の「誤った接続例」の場合、排気不良や異音の原因になります。

● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
● 部品の取り付けは確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります

● レンジフードの前および左右方向の水平を確実にだして
● 各部分のすきまから調理面に滴下することがあります。
● キッチンパネルの上端部をレンジフード下部部面に入れて設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに挟み込む部材は不燃性のものを使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

● 1 だるま穴用座付ねじをねじ込みます。(図 4-1)
● 製品寸法図と裏面の型紙を参照し、だるま穴位置(左右各 1ヶ所)に付属品の座付ねじ(φ5.1×45)を壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。
● 2 本体取付枠を取り付けます。(図 4-1)
● 製品寸法図と裏面の型紙を参照し、本体取付枠の取付位置に付属品の座付ねじ(φ5.1×45) 2 本で本体取付枠を固定します。



4. 本体の取り付け

● 1 本体を引っかけます。(図 4-2)
● 本体のだるま穴を座付ねじに引っかけながら(①)、本体背面の溝を本体取付枠に引っかけます(②)。
● 上方排気の場合はダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

● 2 だるま穴の座付ねじ(φ5.1×45)をしっかりと締め付けます(④)。

● 1 排気口を取り付けます。(図 5-3)
● 本体排気口取付位置に取付けられている取付ねじ 2 本をはずした後、L 形ダクトを本体上部の差込部に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、はずした取付ねじ 2 本で取り付けます。

● 1 排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面(製品天面等)が変形し、風漏れが発生してしまいう場合があります。
● 風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。
● 漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等(現場調達は)で漏風防止処置をおこなってください。

● 1 排気口を取り付けます。(図 5-2)
● ダクトと排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図 5-2)

● 2 ダクトカバーの取り付け
● 1) ダクトカバーを壁際まで取り付けて、引掛け用の取付ねじ2本を打ち込んで、引掛け部の溝に滑り込みます。
● スライドさせながら、引掛け部を切り欠きにはめ込みます。(図 7-3)
● ※引掛けねじの切り欠きに確実にめ込まれていることを確認してください。

6. 電気配線

● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 火災・感電の原因になります

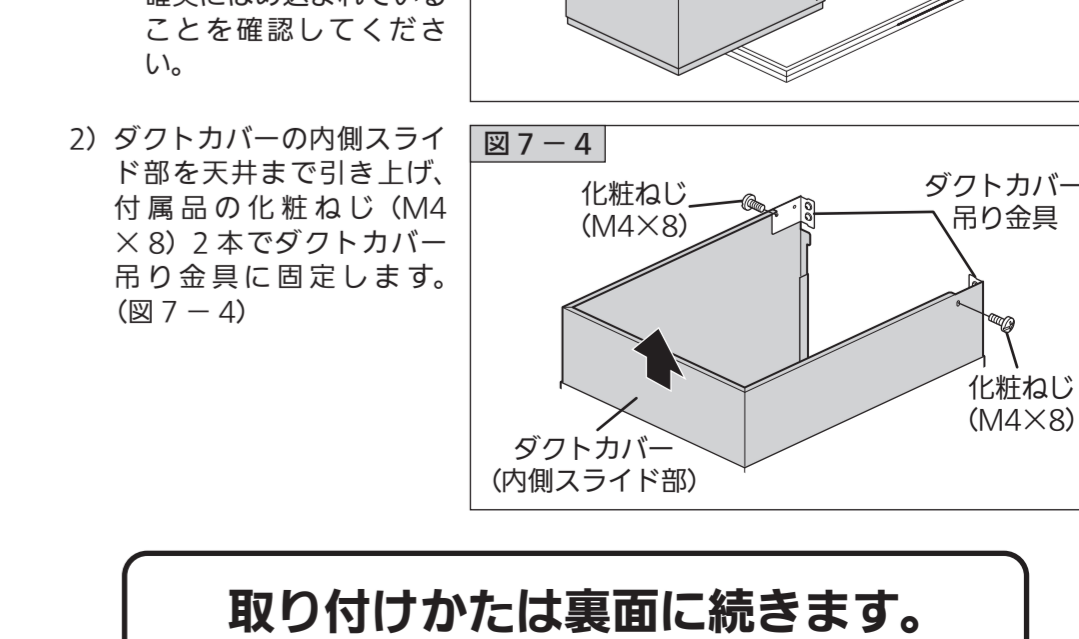
● 電源は専用のコンセント (2極接地用差込接続器 15 A、125V) およびブレーカーを付けてください。
● 「9. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
● コンセントは電源コードの長さを考慮し、関連法規に従って設置してください。
● コンセントの設置は、右図の斜線範囲内が推奨となります(図 6-1)。

● 1 取付位置を確認します。
● 製品寸法図を参照し、ダクトカバー吊り金具の取付位置を確認します。(図 7-1)

● 2 ダクトカバー吊り金具を取り付けます。(図 7-2)
● ダクトカバー吊り金具を図のように付属品の座付ねじ(φ5.1×45) 4 本で取り付けます。
● ※レンジフードのセンターに合わせて注意しながら取り付けしてください。

● 3 ダクトカバーを取り付けます。(図 7-3)
● 1) ダクトカバーを壁際まで取り付けて、引掛け部の取付ねじ2本を打ち込んで、引掛け部の溝に滑り込みます。
● スライドさせながら、引掛け部を切り欠きにはめ込みます。(図 7-3)
● ※引掛けねじの切り欠きに確実にめ込まれていることを確認してください。

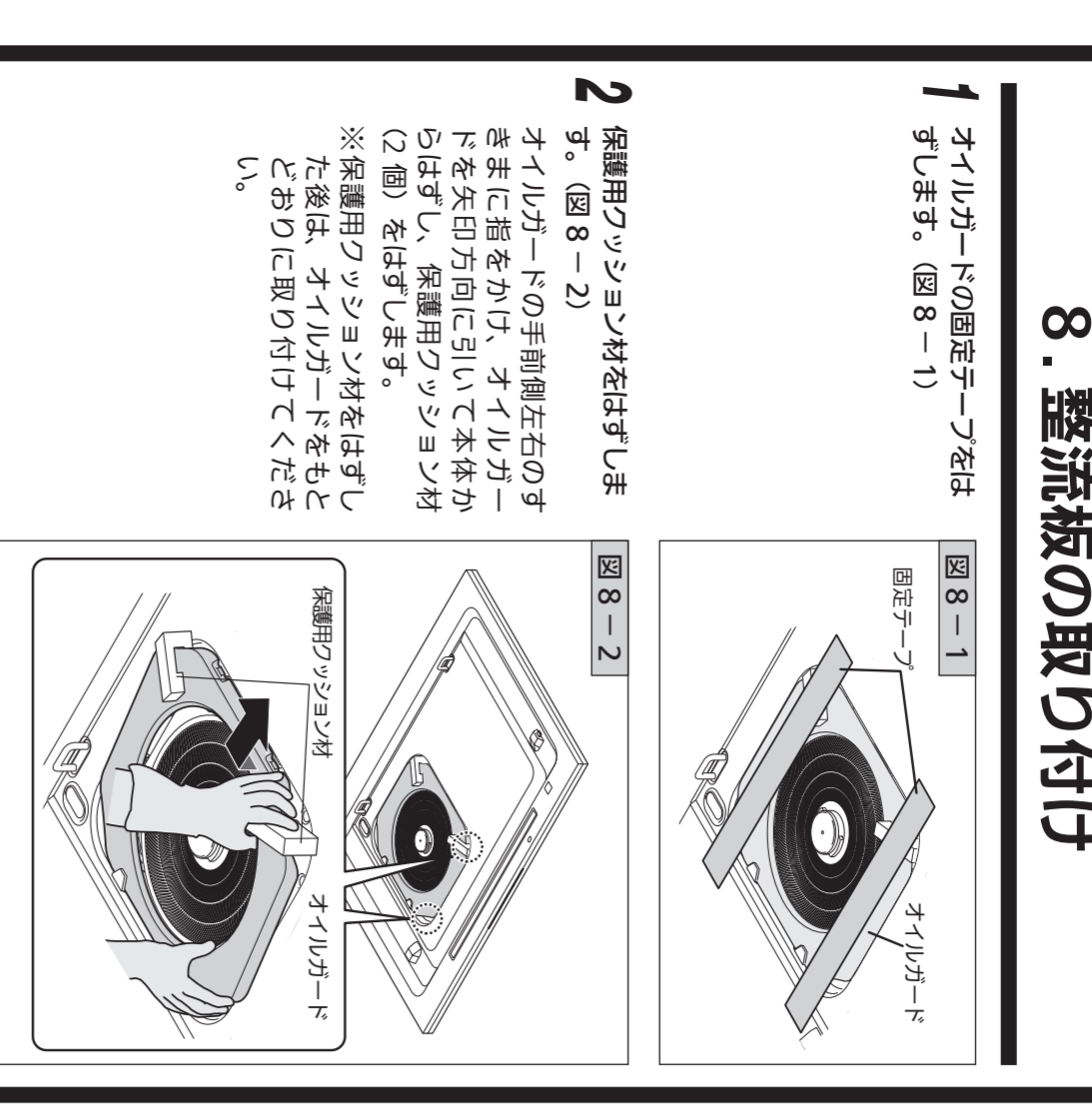
● 2) ダクトカバーの内側スライド部を天井まで引き上げ、付属品の化粧ねじ(M4×8) 2 本でダクトカバー吊り金具に固定します。(図 7-4)



取り付けかたは裏面に続きます。

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは裏面をご覧ください。

8. 整流板の取り付け



お買い

- 整流板の固定は、確實におこなってください。ロッドが不十分で落下の原因になります。

9. 試運転

注意

- 運転中は、指や物を機体に入れられないこと
- 運転中は、指や物を機体に入れられないこと
- 必要時、運転を停止してください。
- 必ず取扱説明書に従って取組みを行ってください。
- 整流板が正しく取り付けられていないと、運転停止機能による運転できず、チャイム音が鳴らなくなります。取り付けが不完全な状態で運転すると、整流板がチャイムの取付けについて誤作動を発生させる場合があります。
- 整流板を正しく取り付けたい場合は、取扱説明書をご覧ください。
- 異常な騒音、振動が感じられる場合は、運転を停止してください。
- 屋外の排気口から排気され、異音が発生し、運転が不安定な場合は、運転を停止してください。
- 取り付けまたは各種工事によって発生した不具合を修理するには、必ず取扱説明書をご覧ください。
- 製品保証のため、はしりした保護用のワッシャー材と固定テープをその状態に取付けください。
- 風量おまかせ運転(風量自動調節)機能を利用したお買いいただくために、別冊に記載の方法で必ず運転設定をおこなってください。

10. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取付け位置を説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書をお客様にお渡しください。

〔製造元〕 富士工業株式会社
本社・営業部 〒252-0206
相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号
TEL 042(768)3754 (営業部)

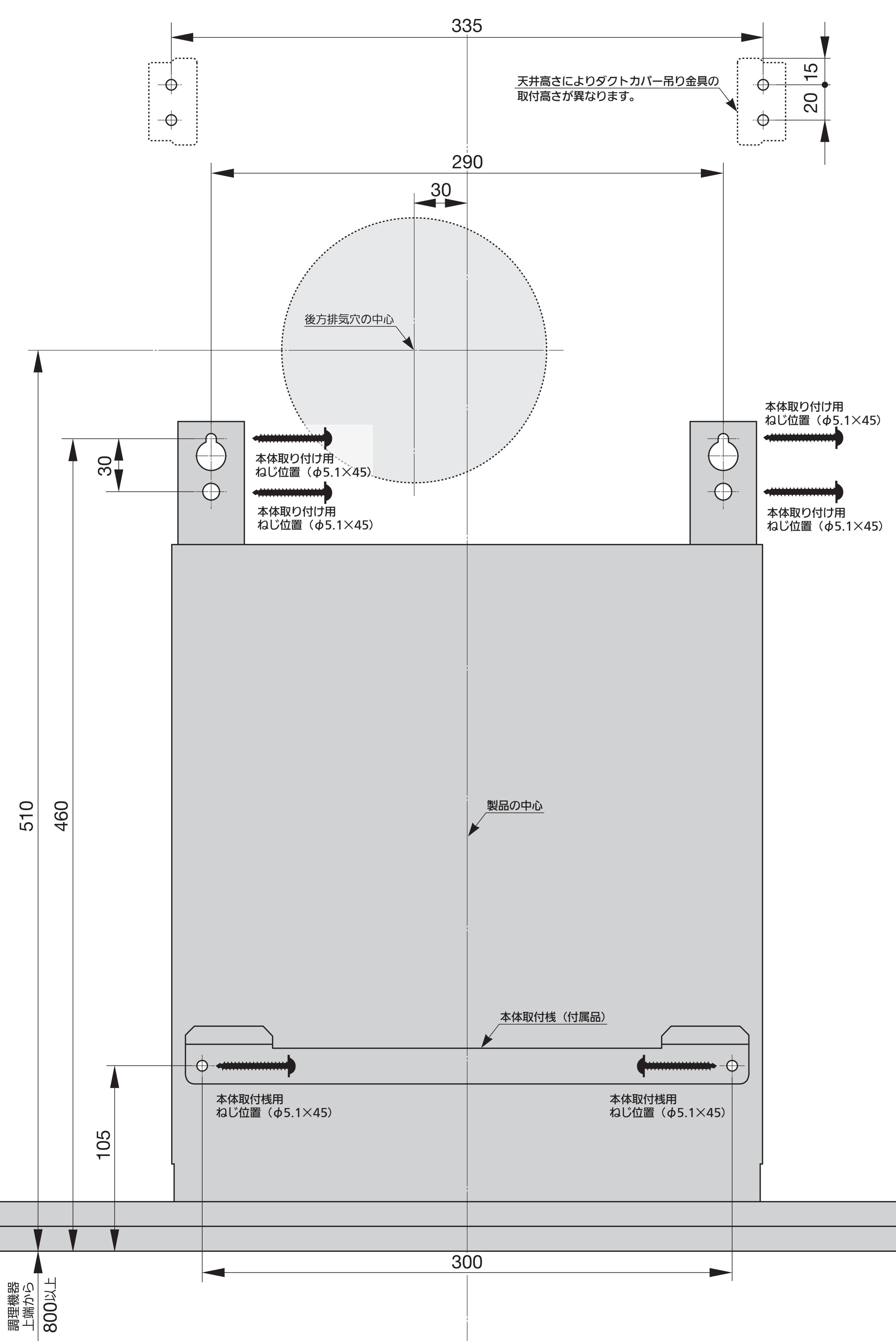
原寸大型紙 (寸法単位は mm)

お読み

この型紙は温気の影響で 2 ~ 3mm 誤差が生ずることがあります。寸法をお確かめの上で使用ください。

取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

※表面は取付説明書になっています。よくお読みになり正しく取り付けをおこなってください。



調理機器
上端から
800以上